加盟チーム各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　茨城県小学生バドミントン連盟　　理事長　椎名　修

　　　　連盟事業参戦に際してのチーム及び指導者の意識再考(モラル)と代表者責務

　　連盟事業も年末になり、また、更にコロナ感染拡大が県内においても、地域間行動制限がされる

など、厳しい冬を迎えつつあります。

　　茨城県小連としても、夏から、厳重な体制を考え制限の中にも何とか「子ども達のために大会を」

と役員一同準備計画し２大会が実施できたことは他県にも誇れる 運営競技役員一同「縁の下の力持ち」

の賜物です。

大会の主役は選手達。支えているのは指導者・保護者・大会役員です。各チームの皆さんも、立場

立場で一生懸命取り組んでいることも承知しております。

しかし、今般、大会コロナ感染対策について、運営側のルール約束事が守れておらず、更に残念

なことは、ルール違反しているチームは上位入賞チームであることです。

大会役員は、開催までに、状況変化で対応が変わり体育館との幾度かの調整の中、試行錯誤し、

一字一句の文言を精査して、参戦する皆さんに提示しています。

　　それは、子ども達と皆さんを安全に参戦する。皆さんを守るためのルールです。

　　スポーツは、ルールがあって初めて楽しめます。現状、子どもたちに、技術よりも勝つことよりも、

ルールを守ることを優先に考えませんか？

　　健康でなければ、スポーツは楽しめません。自分の行動が自分だけの責任ですめばよいですが、

場合によっては周囲を脅かすことにもなりかねません。

　　県知事から行動制限の地域に在住チーム。市町村独自の制限のあるチーム。その周辺のチーム。

制限のまだ無いチーム含め、ルールを守って下さい。子どもは判断できません。大人、特に、チーム

代表者及び指導者、こどもを守るのも代表としての責務です。子どもは指導者や大人の背中をみて学びます。良識あるモラルのある行動を示し、正しく健全に育成して下さい。

　　12/26.27関東小連団体戦(石岡市)が中止となり２月に延期となりました。連盟事業としましても、

２月ダブルス大会、３月シングルス大会を予定しておりますが、コロナ感染状況にもよりますが、

開催したとしても現状ルールを守らないチームがある限り、次回は、無観客もしくは指導者も制限

することも検討しています。

　　大会役員は大会準備に数カ月前から準備し、大会当日は参加者よりも早く会場入りし、参加者が

退場してもなお最後まで残って片付けや、終わった後の報告処理等で時間を費やしていることご存知

ですか。その役員達の尽力の上に選手の活躍と指導者のコーチングの晴れやかな舞台が成るのです。

その方々への感謝の意をもって参戦していただきたい。注意事項やコロナ対策、組合せ、１部の

パンフレットも多くの役員の協力によるものです。

　コロナ渦中の制限の大会で、他人の行動が気になり、神経質に過敏になり過ぎることも懸念されます。

心に余裕をもって、まずは子ども達の健全な日々の活動が保てることを第一に、今 チーム代表として

何を優先すべきか。子ども達がいるから指導者がいて、チームが成り立つ。それを支えるのは代表者。

この機会に改めて考えて行動していただきたいと思います。

　≪チーム代表者の責務≫

　通常活動

　・選手・コーチ・関係者の健康を把握する。

　　・選手・コーチ・関係者が体調が悪い場合(咳・喉痛み・悪寒)練習に参加させない

　　・選手・コーチ・関係者の体調が悪くなった時の報告を速やかに受ける体制をつくる

　　・行動制限のある地域は練習を自粛する。

・行動制限のある地域との交流はしない。(県外含む)

・体調不良の関係者がコロナ感染の疑いの場合。または、関係者が濃厚接触者となっ

　た場合、連盟事務局へ一報する。直ちに活動を休止し、保健所の指示に従う。

　　・検査対象がチーム全体に及んだ場合、代表者は連盟事務局へ随時報告する。

大会参戦

・大会参戦にあたり選手・コーチ・関係者への衛生健康面の徹底を指示する。

・大会参戦にあたり選手・コーチ・関係者への競技事項コロナ対策等のルールを

徹底するよう指示する。

・大会参戦にあたり体調不良の選手・関係者を確認した場合、直ちに連盟事務局へ

報告し　チームとして、個人として　参戦有無の事務局の指示を仰ぐ。

・濃厚接触者が所属チームに判明した場合、直ちに大会事務局へ一報し、チームとして

大会棄権扱いの確認をする。チーム活動休止。保健所等の指示を仰ぐ。

　　❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀

　 　大会競技委員長　佐藤英男

　 　大会事務局長　　日向晴美

　 　ibarakirenmeibado55@yahoo.co.jp

　　❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀